

開催概要

アーツ中村橋2026—わたしとまちの記憶

会期 | 2026年9月12日[土]～11月8日[日] ※美術館内の展示は10月18日[日]まで

会場 | 練馬区立美術館、サンライフ練馬、サンツ中村橋商店街ほか

休業日・開場時間 | 会場ごとに異なります。詳細は中ページをご覧ください。

観覧料 | 無料

主催 | 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）

協力 | エミオ中村橋

美術館について

練馬区立美術館

1985年の開館以来、日本近現代美術を中心に、19世紀西洋美術、絵本など、斬新な視点と大胆な切り口で様々な展覧会を開催しています。

開館時間 | 10:00–18:00 休館日 | 月曜日

（ただし9/21【月・祝】、10/12【月・祝】は開館。

9/24【木】、10/13【火】は休館。）

〒176-0021 東京都練馬区貫井1-36-16

TEL | 03-3577-1821

HP | <https://www.neribun.or.jp/museum.html>

X | @nerima_museum



HP



X

美術館への交通アクセス

鉄道

西武池袋線

（東京メトロ有楽町線・副都心線直通）

「中村橋」駅下車 徒歩3分

バス

関東バス「中村橋駅」停留所より徒歩5分

・阿佐ヶ谷駅北口～中村橋駅

【阿01】系統終点

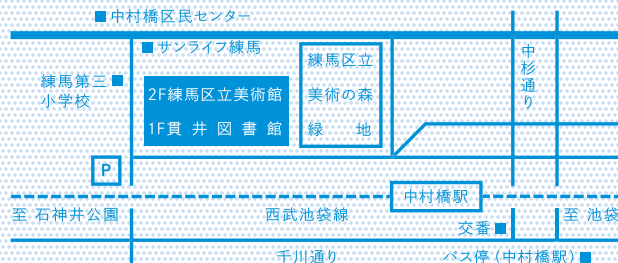
・荻窪駅北口～中村橋【荻06】系統終点

・荻窪駅北口～練馬駅【荻07】系統

「中村橋駅」下車

※駐車場はございません。

（美術館周辺にコインパーキングがあります）



表面：しんどうあすか《Detours & Memories》2026年
デザイン：LABORATORIES（加藤賢策・林宏香）

中村橋のまちをアートで巡ろう



アーツ中村橋2026—わたしとまちの記憶

飯田竜太、大小島真木、鹿島茂コレクション、金子貴富、鞍掛純一、
GROUP + dua studio、しんどうあすか、袴田京太郎、古井彩夏

会場マップ

2026.9.12 SAT – 11.8 SUN 美術館内の展示は10月18日[日]まで



ねもっともっとアート
練馬区立美術館
NERIMA ART MUSEUM

出品作家



飯田 竜太 (Iida Ryuta)

1981年静岡県生まれ。日本大学芸術学部美術学科彫刻コース教授。日本大学芸術学部美術学科彫刻コース卒業、東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了。本、チラシ、新聞などの紙を素材とし、彫刻作品を介して文や言語のもつ枠組みの解体や解釈の幅を広げることを目指す。2007年にはグラフィックデザイナーの田中義久（1980-）とアーティスト・デュオ「Nerhol」を結成。



大小島 真木 (Ohkojima Maki)

東京を拠点に活動する大小島真木、辻陽介からなるアートユニット。「絡まり、もつれ、ほころびながら、いびつに循環していく生命」をテーマに制作活動を行う。フランス、インド、ポーランド、中国などで滞在制作。2024年文化庁の在外派遣制度を通じて1年間のメキシコ滞在、またポーラ美術振興財団の在外研修助成制度、小笠原敏晶記念財団の支援を受け、2026年の現在もメキシコを中心としたラテンアメリカで研究活動を行っている。



鹿島 茂コレクション (Kashima Shigeru's Collection)

1949年神奈川県生まれ。作家、フランス文学者、明治大学名誉教授。東京大学仏文学科卒業、同大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得満期退学。主な著作に『馬車が買いたい―19世紀パリ・イマジネール』（1991）、『子供より古書が大事と思いたい』（1996）、『職業別パリ風俗』（2000）など。また膨大な古書蒐集家として、蒐集品を調査したうえで体系的に編纂しなおし、その成果として、2010年代よりコレクションを紹介する展覧会を行ってきた。



金子 貴富 (Kaneko Takatomi)

1994年埼玉県生まれ。画家、日本大学芸術学部美術学科絵画コース助教。同大学大学院芸術学研究科博士前期課程造形芸術専攻修了。二紀会準会員。2024年より現職。大学2年時の吉岡正人の制作補佐をきっかけに、絵画の支持体や地塗りに関心を持ち始める。以後、古典技法の習得や布張り・地塗りなどの丹念な画材研究を行う。そうした支持体に描き出される人物や風景は落ち着いた風景をまとい、画面は独自の静謐さを湛える。



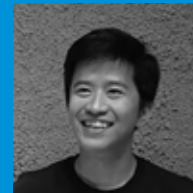
鞍掛 純一 (Kurakake Junichi)

1967年東京都生まれ。彫刻家、日本大学芸術学部美術学科彫刻コース教授。日本大学芸術学部美術学科彫刻専攻卒業、同大学芸術学部芸術研究所修了、2011年より現職。鉄、木、石を用いた彫刻のほか、近年では写真やインスタレーションも手がける。2006年からは新潟県越後妻有「大地の芸術祭」へ定期的に参加し、《脱皮する家》(2006) など参加型の作品を手がける。2019年からは「大地の運動会」の実行委員会メンバーとして地域とアートをつなぐプロジェクトも実施している。



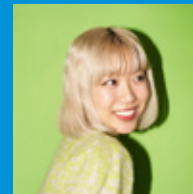
GROUP (グループ)

建築プロジェクトを通して、異なる専門性を持つ人々が仮設的かつ継続的に協働できる場の構築を目指し、建築設計・リサーチ・施工をする建築コレクティブ。主な設計に《海老名芸術高速》(2021)、《新宿WHITE HOUSEの庭》(2021)、《夢洲の庭》(2025)、主な展覧会には金沢21世紀美術館「DXP」(2023)、WHAT MUSEUM「波板と珊瑚礁 建築を速くに投げる八の実践」(2026) など。本展覧会ではdua studioと共同で参加。



dua studio (デュア・スタジオ)

インドネシアのジャカルタを拠点に、都市のなかにある「ヴォイド＝空虚」のような空間へアプローチしながらデザイン、アート、建築を架橋する創作活動を行う。2018年には「第16回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展」のアルセナーレ地区での展示に参加。そのほかにも「4×6×6」(2018)や「Two Triangle House」(2024)など、丹念なりサーチのうえで造られた都市の隙間に応じる建築を手がける。本展覧会では、Ardy Hartono、Wilusty Tengara、Dennis Pranataが、GROUPと共同で参加。



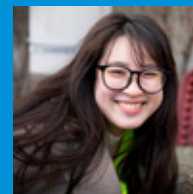
しんどう あすか (Shindo Asuka)

2001年東京都生まれ。写真家。東京藝術大学美術学部デザイン科卒業、同大学大学院美術研究科デザイン専攻修士課程修了。日常の何気ない風景は、しんどうの目を通すと無機質かつ美しい風景として立ち現れてくる。在学中より精力的に活動を展開し、2025年には東京藝術大学 芸術未来研究場「アート×ビジネス領域」のレジデント・プログラムの2期生に選ばれる。同年には、一般社団法人日本能率協会「アートが切り拓く経営の未来」の6名の作家に選出され、日本能率協会のオフィス壁面の装飾を担当した。



袴田 京太朗 (Hakamata Kyotaro)

1963年静岡県生まれ。武蔵野美術大学造形学部油絵学科教授。武蔵野美術大学造形学部彫刻学科卒業、1994年に文化庁芸術家在外研修員としてアメリカ、1996年に五島記念文化賞美術新人賞として中国、チベット、ベトナムに滞在。2007年より現職。「彫刻の可能性と不可能性」をテーマに、初期にはベニヤ板、その後アクリル板や発泡スチロールを組み合わせた彫刻作品を制作。その後も、手に文字が刻印される「刻印の肘掛」シリーズや、既存の彫刻のサイズを約10倍に拡大して制作する「複製シリーズ」などを展開している。



古井 彩夏 (Furui Ayaka)

1988年東京都生まれ。彫刻家、日本大学芸術学部美術学科彫刻コース助教。女子美術大学大学院美術研究科立体芸術研究領域修了、沖縄県立芸術大学非常勤講師、女子美術大学非常勤講師などを経て現職。鉄やステンレスといった素材を切断しては接合し、磨くという工程を繰り返すことで曲線と不思議な金属の風合いを生み出し、硬い物質である金属素材のイメージを軽やかに超越させる。近年では、住宅やホテル、福祉施設などへの恒久展示作品の制作も手がける。

アーツ中村橋とは？

本展は、練馬区立美術館が主催する「まちとつながる現代美術」の展覧会です。今年で第2弾となる本展のテーマは「わたしとまちの記憶」です。総勢9組のアーティストたち 一飯田竜太、大小島真木、鹿島茂コレクション、金子貴富、鞍掛純一、GROUP + dua studio、しんどうあすか、袴田京太郎、古井彩夏― は、彫刻・絵画・写真・建築・インスタレーションなどの多様な作品から、「わたし」とち中村橋の「まち」の過去と現在をつなぎます。会場マップを片手にぜひ、散策しながら中村橋のアートとグルメを楽しんでみてください。

古書クマゴロウ



Filtered Silence
—The Pedestal of Thought—
[2024年]
飯田竜太

COCO CAFE & GELATO



森臓 トーテム [2020年]
大小島真木

駅前通りフラッグ



Detours & Memories [2026年]
しんどうあすか

練馬区立美術館



ガマの野仏
(ネズミ、ウシ、トラ、ウサギ、タヌ) [2025年]
袴田京太郎

サンライフ練馬

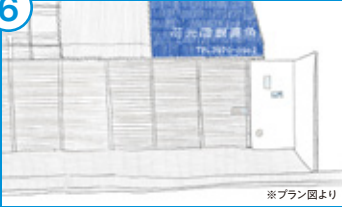


サルグミンヌ
題不詳(雉) [19世紀] ほか
鹿島茂コレクション



森臓 エンタングル 音を鳴らす
[2022年]
大小島真木

旧花光園観賞魚

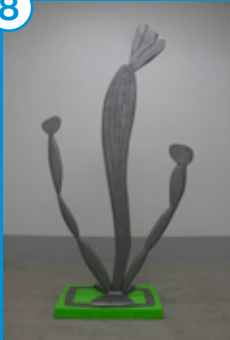


It was a fish shop [2026年]
GROUP + dua studio



波の下を進む [2026年]
古井彩夏

REINO COFFEE STORE



森のうたII [2011年] ほか
鞍掛純一



Vulnerability
“Not (I)”, Not Not (I)”
シリーズより
[2023年]
大小島真木



エミオ中村橋 外壁



日が沈むまで [2026年]
金子貴富

注意事項

- ・COCO CAFE & GELATO、REINO COFFEE STOREについては、作品観賞のみでの入店をご遠慮ください。
- ・マルイチ質店 中村橋店では、ウィンドウの作品を外からご鑑賞ください。（店内には展示されておりません。）
- ・作品鑑賞時には車両の通行にお気をつけください。



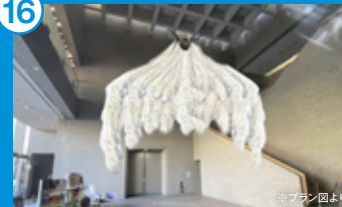
ガマの野仏
(ネズミ、ウシ、トラ、ウサギ、タヌ) [2025年]
袴田京太郎



古賀たちの戦争彫刻 ―複製―
[2026年] ほか
袴田京太郎



The Circular Game [2023年]
飯田竜太



シンシルレイ [2026年]
大小島真木



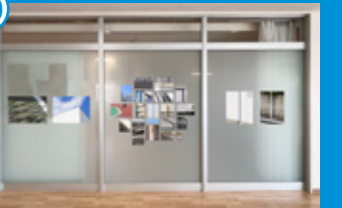
サルグミンヌ
題不詳(雉) [19世紀] ほか
鹿島茂コレクション



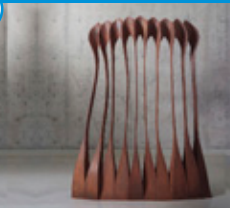
海の中
[2026年]
金子貴富



リサーチセンター [2026年]
GROUP + dua studio



Detours & Memories [2026年]
しんどうあすか



草 [2021年] ほか
古井彩夏



♪ マルイチ質店 中村橋店

営業時間：月曜日～土曜日 9:00–20:30 ／定休日：日曜日
地元の皆さまに支えられてきた安心と信頼のマルイチ質店です。時計・ブランド品・貴金属など、1点1点丁寧に査定いたします。



♪ はなんちゅ

営業時間：水曜日～月曜日 9:30–19:00 ／定休日：火曜日
季節のお花を中心に、良い品質のお花を取り揃えております。各種お祝いやお供えなど、ご用途に応じたフラワーギフトを心を込めてお作りします。



♪ 練馬風月堂 本店

営業時間：[平日] 9:30–18:30 [日曜日] 9:30–17:30 ／定休日：年中無休
昭和38年の創業以来、素材にこだわり1つ1つ丁寧に作っています。全国菓子大博覧会で農林水産大臣賞を受賞した「栗まんじゅう」がオススメです。



♪ 古書クマゴロウ

営業時間：水曜日～日曜日 11:00–20:00 ／定休日：月曜日・火曜日
文学・歴史・宗教・哲学・美術・理工・料理・漫画など、様々なジャンルの本を取り揃えております。欲しい本が見つかるかも？



♪ COCO CAFE & GELATO

営業時間：木曜日～火曜日 11:00–18:00 ／定休日：水曜日
神奈川県厚木市七沢の自然豊かな土地で作られた、職人こだわりのジェラートをお楽しみいただけます。



♪ REINO COFFEE STORE

営業時間：水曜日～日曜日 11:00–17:00 ／定休日：月曜日・火曜日
素材の味を大切に、淹れたてから冷めるまでの味の変化を楽しめるコーヒーを提供しています。産地の個性を生かし、丁寧に自家焙煎したコーヒーを堪能してください。

♪ 旧花光園観賞魚

♪ 駅前通りフラッグ

♪ エミオ中村橋 外壁

♪ 練馬区立美術館

ロビー／ロビー旧カフェ出窓カウンター／2階展示室／正面玄関前
開館時間：10:00–18:00／休館日：月曜日
(ただし9/21 [月・祝]、10/12 [月・祝] は開館。9/24 [木]、10/13 [火] は休館。10/19 [月] ~10/30 [金] は展示替休館) ※美術館内の展示は10月18日 [日] まで

♪ サンライフ練馬

1階 ガラス壁／2階 休憩室
開館時間：9:00–22:00／休館日：なし
(2階 休憩室の展示は 17:00 まで)